

整理番号 S-35

出 展 織物欠点解析事例集

欠 点 名 よこ斑:シボ斑(撚異常)

品 名 楊柳縮緬

試料形態 織物

組 織 紋

糸 使 い

たて糸:生糸 27 中×2

よこ糸:生糸 21 中×3 960T/m

生糸 21 中×3 4,500T/m

欠点発生状況

織物の全反にわたって所々に現われたシボの異なるよこ斑である。この欠点は生機ではわからず、精練加工後に発現している。よこ糸は撚方向の異なる生糸が2本交互に打込まれている。

試料写真



正
常
↑
↓
欠
点

試験結果

(1) 燃数測定

。燃 数 比 較

シボの小さい方（正常）

上燃（T/m）	下燃（T/m）
S 188	Z 935
	Z 4,580
Z 100	S 960
	S 4,230
Z 132	S 970
	S 4,250
S 200	Z 955
	Z 4,460
S 192	Z 1,045
	Z 4,565

シボの大きい方（異常）

上燃（T/m）	下燃（T/m）
Z 104	S 915 ←欠点系
	S 1,020
S 160	Z 940
	Z 4,450
S 192	Z 995
	Z 4,500
Z 144	S 980 ←欠点系
	S 900
Z 116	S 920 ←欠点系
	S 950

所 見

正常部と異常部のよこ糸燃構成を比較した結果、異常部のよこ糸 2 本のうちの 1 本が正常で他の 1 本が燃異常であった(下燃糸の甘燃)。

本欠点は発生状態からみて、燃糸機の一時的なトラブルによる燃斑ではなく、糸の管理が不十分なために表示燃数の異なる下燃糸を混入して合糸し、上燃をかけたために精練加工後にシボ斑を生じたものである。